

# 日本教育社会学会

The Japan Society of Educational Sociology

## 第71回大会プログラム

2019

令和元年9月

12日(木)・13日(金)



大正大学

スガモで育む日本の未来。

お詫びと訂正(2019年8月9日)

会員の皆さまにお届けした大会プログラムに以下のような修正点があります。当該頁を修正した改訂版のPDFを学会ウェブサイト公開するとともに、関係者のみなさまにお詫び申し上げます。

(1)大会プログラム 4 頁、課題研究Ⅲの会場を7号館5階 755 に訂正します。

課題研究Ⅲの打合せの会場を7号館5階 755 に訂正します。

(2)大会プログラム 14 頁、若手研究者交流会参加申し込みの締め切り日を 9 月 3 日(火)に延長します。

(3)大会プログラム 31 頁、Ⅱ-5部会(教師(1))の西本裕輝会員・馬居政幸会員・武内清会員のご報告、「高校教師の教育観・改革観を規定する要因(2)―高校教師調査 2017 からの考察―」の連名者に記載漏れがありました。

追加(2019年9月17日)

(4)大会プログラム 53 頁、Ⅳ-7部会(地域社会と教育)の瀬戸麗(大阪大学大学院)会員の所属名を訂正します。

日本教育社会学会・第 71 回大会実行委員会

# ●放送大学テキスト

好 評 発 売 中

<b>教育社会学概論</b> 岩永雅也 2019年発行 ¥2,700+税	<b>道徳教育の理念と実践</b> 押谷由夫・永田繁雄・新井浅浩・諸富祥彦 西野真由美 2016年発行 ¥2,900+税
<b>教育の行政・政治・経営</b> 青木栄一・川上泰彦・村上祐介 2019年発行 ¥2,900+税	<b>カリキュラムと学習過程</b> 浅沼茂・奈須正裕・北村和夫・成田幸夫 久野弘幸 2016年発行 ¥2,700+税
<b>戦後日本教育史</b> 貝塚茂樹 2018年発行 ¥2,700+税	<b>学校と法 [改訂版]</b> 坂田仰・岩橋健定・黒川雅子・山田知代 2016年発行 ¥2,300+税
<b>地域コミュニティと教育</b> 玉井康之・夏秋英房・岩永雅也・ 宮田美恵子 2018年発行 ¥2,800+税	<b>現代日本の教師</b> 油布佐和子・岩立京子・佐久間亜紀 元兼正浩 2015年発行 ¥2,700+税
<b>現代の家庭教育</b> 田中理絵・天童睦子・東野充成・ 遠藤野ゆり 2018年発行 ¥2,500+税	<b>幼児教育の指導法</b> 師岡章・佐久間路子・田中浩二 2015年発行 ¥2,700+税
<b>生涯学習の新たな動向と課題</b> 立田慶裕 2018年発行 ¥2,800+税	<b>人間発達論特論</b> 住田正樹・田中理絵 2015年発行 ¥3,200+税
<b>現代社会の児童生徒指導</b> 古賀正義・山田哲也・田中理絵 金子真理子 2017年発行 ¥3,100+税	<b>教育学入門 - 教育を科学するとは -</b> 岡崎友典・永井聖二・富江英俊・加藤理 2015年発行 ¥2,600+税
<b>子ども・青年の文化と教育</b> 岩田弘三・谷田川ルミ・岡田佳子・富江英俊 熊田博喜 2017年発行 ¥2,600+税	<b>乳幼児の保育・教育 [新訂]</b> 岡崎友典・梅沢実・井上清美・押元信幸 芦田川祐子 2015年発行 ¥2,300+税
<b>カリキュラム編成論 [改訂版]</b> 田中博之 2017年発行 ¥3,600+税	<b>教育の社会学</b> 近藤博之・岩井八郎・木村涼子・中澤涉 大多和直樹 2015年発行 ¥2,700+税
<b>教育文化の社会学</b> 稲垣恭子 2017年発行 ¥2,600+税	<b>道徳教育の方法</b> 堺正之 2015年発行 ¥2,300+税

●ご希望の方に「図書目録」をお送ります。詳しくは [www.ua-book.or.jp](http://www.ua-book.or.jp)



一般  
法人

放送大学教育振興会

TEL 03-3502-2750

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-14-1

FAX 03-3592-2482

# 目次

		(頁)
○大会日程	…	4
○ご案内	…	5
○大会会場へのアクセス (大正大学・西巣鴨キャンパス)	…	8
○大会会場 構内案内図	…	8
○会場配置図	…	9-13
◇9月11日(水)	(会場)	(頁)
若手研究者交流会 (16:00~18:00)	7号館5階 751・752・753	14
◇9月12日(木)		
研究発表 I (9:30~12:00)	(会場)	(頁)
I-1 テーマ部会 矯正教育と学校教育の接続、協働	7号館4階 741	15
I-2 計量分析(1)	7号館5階 751	16
I-3 教育の歴史社会学(1)	7号館5階 752	17
I-4 能力と選抜	7号館5階 753	18
I-5 学習活動	7号館5階 754	19
I-6 教育活動(1)	7号館6階 766	20
I-7 青少年	7号館6階 761	21
I-8 専門教育	7号館6階 762	22
I-9 グローバリゼーションと教育(1)	7号館6階 763	23
I-10 文化・ジェンダーと教育	7号館6階 764	24
I-11 教育政策・制度	7号館6階 765	25
I-12 英語部会 Culture & Diversity	7号館5階 755	26

研究発表Ⅱ (14:10～16:10)		(会場)	(頁)
Ⅱ-1	テーマ部会 災害と教育	7号館4階 741	27
Ⅱ-2	共生社会	7号館5階 751	28
Ⅱ-3	家族と教育	7号館5階 752	29
Ⅱ-4	子ども・教育問題	7号館5階 753	30
Ⅱ-5	教師(1)	7号館5階 754	31
Ⅱ-6	異文化と教育	7号館6階 761	32
Ⅱ-7	キャリアと教育	7号館6階 762	33
Ⅱ-8	大学と地域	7号館6階 763	34
Ⅱ-9	高等教育(学生)(1)	7号館6階 764	35
Ⅱ-10	英語部会 History & Education	7号館5階 755	36

研究発表Ⅲ (16:20～18:20)		(会場)	(頁)
Ⅲ-1	社会階層と教育	7号館5階 751	37
Ⅲ-2	子ども	7号館5階 752	38
Ⅲ-3	子ども・若者支援	7号館5階 753	39
Ⅲ-4	教育問題	7号館5階 754	40
Ⅲ-5	カリキュラム	7号館6階 761	41
Ⅲ-6	教育活動(2)	7号館6階 762	42
Ⅲ-7	特別支援教育	7号館6階 763	43
Ⅲ-8	高等教育(教員)	7号館6階 764	44
Ⅲ-9	高等教育(学生)(2)	7号館6階 765	45
Ⅲ-10	英語部会 Education Policy	7号館5階 755	46

◇9月13日(金)

研究発表IV (9:30~12:00)	(会場)	(頁)
IV-1 テーマ部会 障害と支援の社会学	7号館4階 741	47
IV-2 計量分析(2)	7号館5階 751	48
IV-3 進路と教育	7号館5階 752	49
IV-4 教育の歴史社会学(2)	7号館5階 753	50
IV-5 不登校	7号館5階 754	51
IV-6 教師(2)	7号館6階 761	52
IV-7 地域社会と教育	7号館6階 762	53
IV-8 高等教育制度	7号館6階 763	54
IV-9 大学生	7号館6階 764	55
IV-10 ジェンダーと教育	7号館6階 765	56
IV-11 グローバリゼーションと教育(2)	7号館6階 766	57
IV-12 英語部会 Higher Education	7号館5階 755	58

課題研究 (13:50~16:30)	(会場)	(頁)
I カリキュラムの社会学のこれからを問う	7号館1階 711	59
II 教育の社会科学的実証研究再考—教育社会学と 教育経済学の共通点と相違点から何を学ぶか—	7号館4階 741	60
III ファシリテーションの時代？ —コミュニカ頼みの限界を超えて—	7号館5階 755	61

# 大会日程

前日：9月11日(水)		
16:00	— 18:00	若手研究者交流会 7号館5階 751-753
第1日：9月12日(木)		
8:45	—	受付 7号館1階
9:30	— 12:00	研究発表Ⅰ・テーマ部会・英語特設部会Ⅰ
12:00	— 12:50	昼食
12:50	— 13:40	総会 5号館5階 551
13:40	— 14:05	学会奨励賞 授与式 5号館5階 551
14:05	— 14:10	移動
14:10	— 16:10	研究発表Ⅱ・テーマ部会・英語特設部会Ⅱ
16:10	— 16:20	移動
16:20	— 18:20	研究発表Ⅲ・英語特設部会Ⅲ
18:20	— 19:20	移動
19:20	— 21:00	懇親会 サンシャインクルース・クルース
第2日：9月13日(金)		
9:00	—	受付 7号館1階
9:30	— 12:00	研究発表Ⅳ・テーマ部会・英語特設部会Ⅳ
12:00	— 13:50	昼食・各種会合
13:50	— 16:30	課題研究Ⅰ 7号館1階 711
13:50	— 16:30	課題研究Ⅱ 7号館4階 741
13:50	— 16:30	課題研究Ⅲ 7号館5階 755

# 各種会合

前日：9月11日(水)		
15:30	— 17:00	研究委員会 5号館5階 551
15:30	— 17:00	編集委員会 5号館5階 552
17:00	— 18:00	常務会 5号館5階 551
18:00	— 20:00	理事会 5号館5階 551
第1日：9月12日(木)		
12:05	— 12:50	総会打ち合わせ 5号館5階 551
第2日：9月13日(金)		
12:05	— 12:50	評議員懇談会 5号館5階 552
12:05	— 12:50	新常務会 5号館5階 551
12:50	— 13:35	新理事会 5号館5階 551
12:05	— 12:50	課題研究Ⅰ 打ち合わせ 7号館1階 711
12:05	— 12:50	課題研究Ⅱ 打ち合わせ 7号館4階 741
12:05	— 12:50	課題研究Ⅲ 打ち合わせ 7号館5階 755

# ご案内

## 1. 会場

大正大学・西巢鴨キャンパス

〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1

都営地下鉄三田線「西巢鴨」駅下車 A3 出口より徒歩2分

JR 埼京線「板橋」駅下車 東口より徒歩10分

## 2. 受付

(12日) 午前 8 時 45 分より、7号館1階で受付を行います。

(13日) 午前 9 時より、7号館1階で受付を行います。

【大会参加費】	<u>オンライン決済</u>	会員(一般):4,500 円	会員(学生):2,000 円
	<u>当日</u>	会員(一般):5,500 円	会員(学生):3,000 円
		臨時会員(一般):6,000 円	臨時会員(学生):3,000 円

【懇親会費】	<u>オンライン決済</u>	会員(一般):6,000 円	会員(学生):3,000 円
	<u>当日</u>	会員(一般):7,000 円	会員(学生):4,000 円
		臨時会員(一般):7,000 円	臨時会員(学生):4,000 円

※会員(学生)、臨時会員(学生)の方は、大会受付で**身分証をご提示ください**。ご提示がない場合は、それぞれ会員(一般)ないしは臨時会員(一般)の参加費となりますので、ご注意ください。

※オンライン決済の期限は **8月25日(日)**とさせていただきます。

【要旨集録】 冊子版か USB 版のどちらかをお選びください。ただし参加者全員分を2種類用意することは難しいため、どちらかがなくなった場合は、ご希望にそえないことをご了解ください。USB を選んだ方のために、閲覧用として冊子版の要旨集録を会員控室にご用意します。

【名札】 受付で名札をお渡しします。所属・氏名をご記入ください。大会期間中の会場内では必ず名札をお付けください。



### 3. 発表時間

発表時間は、発表者の人数によって下記のようになります。

発表者 1 名……発表 20 分＋質疑応答 5 分

発表者 2 名以上…発表 40 分＋質疑応答 10 分

発表終了 5 分前に1鈴、終了時刻に 2 鈴、質疑応答終了時刻に 3 鈴の合図をします。発表時間は厳守願います。

### 4. 欠席の場合

発表者が欠席するときは、大会前日(9月11日)までに必ず、大会実行委員会にE-mail(宛先 jses71@outlook.jp)でお知らせください。

発表者が欠席の場合に、発表時間の繰り上げは行いません。

### 5. 発表者の方へ

#### カラー資料作成の手引き

#### ～色覚バリアフリーの実現にむけて～

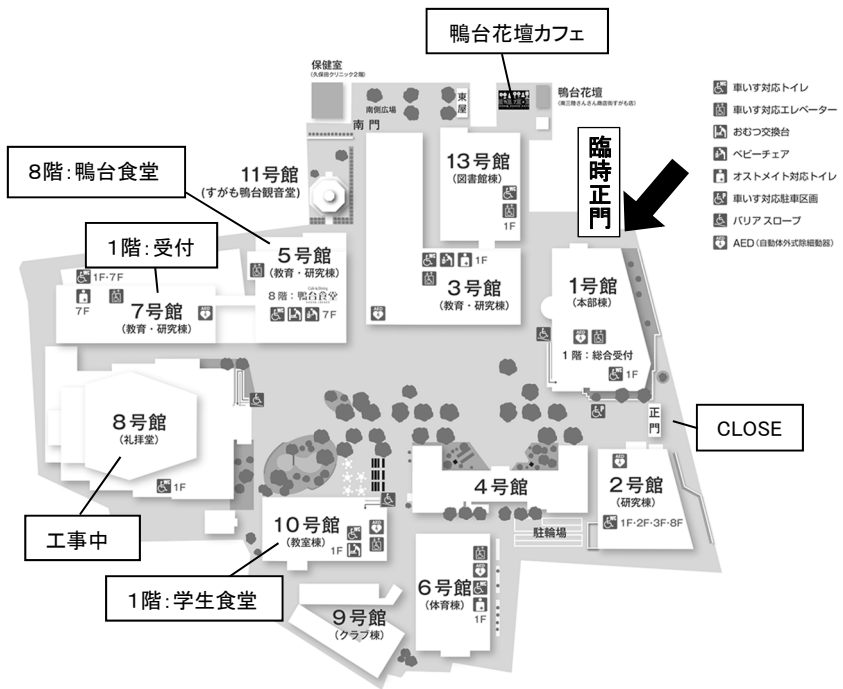
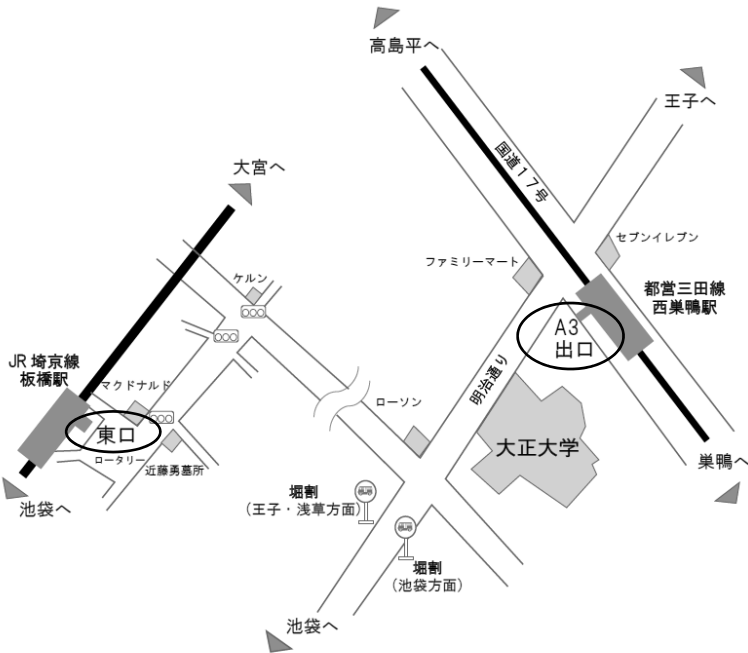
本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざしています。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしゃるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等における色の使い方の配慮等、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、次の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

- ①赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。
- ②レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。
- ③明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。
- ④輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。
- ⑤ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。
- ⑥対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。

(例:この四角い赤のマークは…)

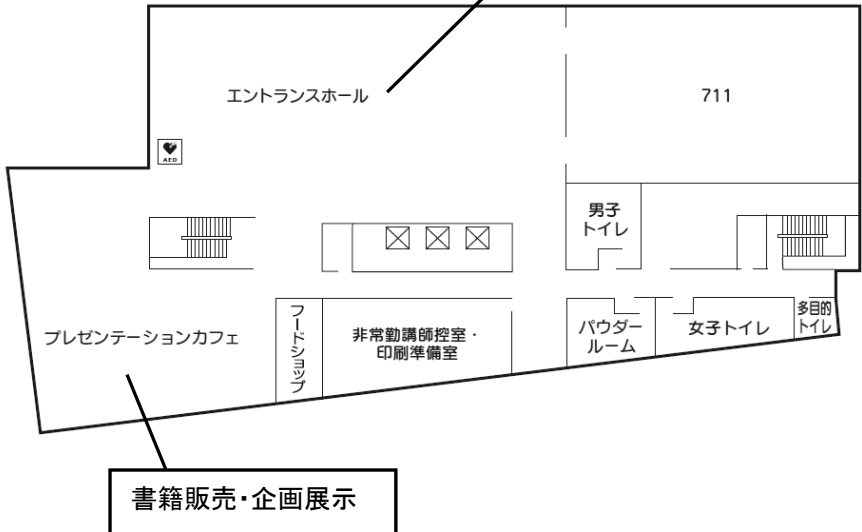
6. 資料のコピー 大会実行委員会によるコピーサービスは行いません。  
研究発表用の配布資料等は、各自で必要な部数をご用意ください。
7. 昼食 大会開催中9月12日(木)・13日(金)、10号館1階の学生食堂、5号館8階の鴨台食堂、南門けやき広場隣の鴨台花壇カフェは営業しております。どうぞご利用ください。また、キャンパス近隣の飲食店やコンビニエンスストア等もご利用ください。
8. 会員控室 会員控室(5号館5階 553)には、お茶・お菓子等をご用意しております。ご利用ください。
9. クローク 5号館2階 522 にクロークを設け、お荷物をお預かりします。  
ただし、貴重品は携帯してください。  
※クロークに預けられた荷物は、12日(木)は 18:30 まで、13日(金)は 17:00 までに必ずお受け取りください。
10. 一時保育 一時保育のサービスを提供いたします(事前の申込みが必要です)。  
詳細は、大会ホームページの実施要領をご覧ください。
11. 懇親会 大会第1日、9月12日(木)19:20よりサンシャイン クルーズ・クルーズで開催します。懇親会費については5ページをご参照ください。なお、大会会場から懇親会会場へは貸切バスで移動します。乗車場所・時間等の詳細につきましては大会当日にご案内します。
12. 抜刷・資料交換 抜刷・資料交換コーナーを会員控室内(5号館5階553)に設けます。
13. 書籍販売・企画展示 大会会場では、7号館1階で、書籍販売・企画展示を行います。
14. バリアフリー対応について 大会に参加するにあたり特別な措置や配慮が必要な場合は、8月26日(月)迄に大会実行委員会に E-mail (宛先 jses71@outlook.jp) でお知らせください。何かご不明な点がありましたら、大会実行委員会までお問い合わせください。

# 大会会場へのアクセス・構内案内図



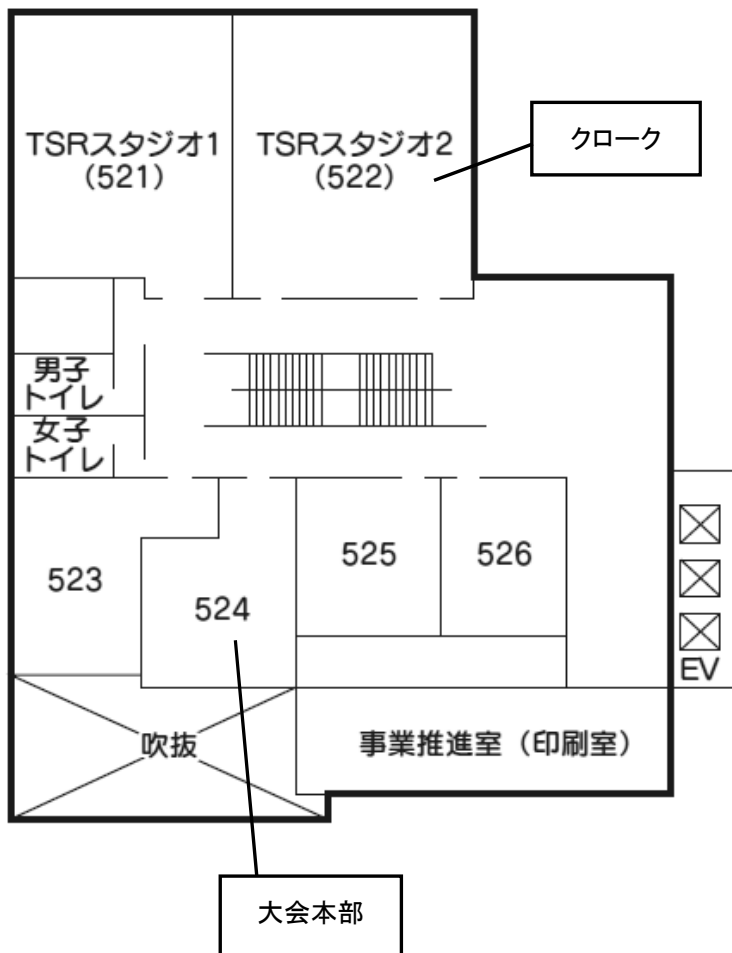
# 会場配置図（7号館1階）

7号館1階のエントランスホールで大会の受付を行います。  
研究発表の会場は1階・4階・5階・6階です。エレベーター  
もございますので、そちらもご利用ください。

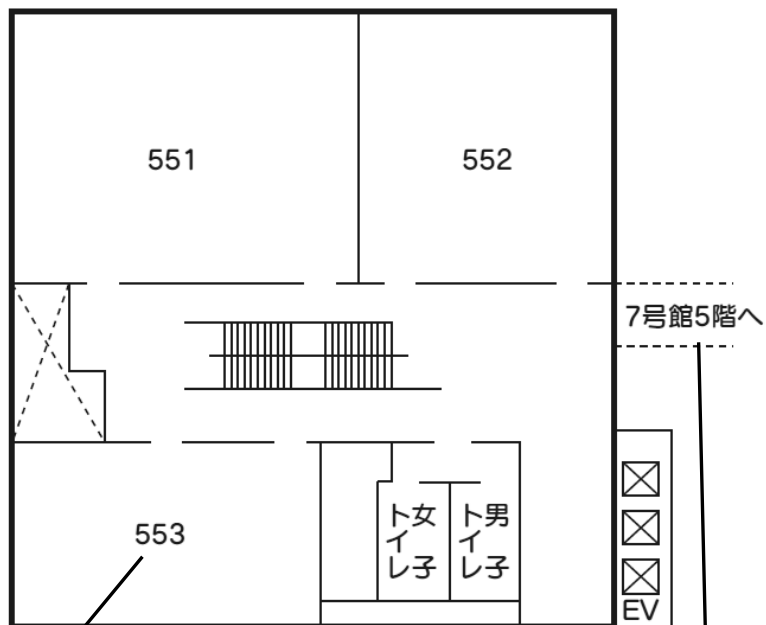


\* 大会で使用する部屋以外への立ち入りはご遠慮ください

# 会場配置図（5号館2階）



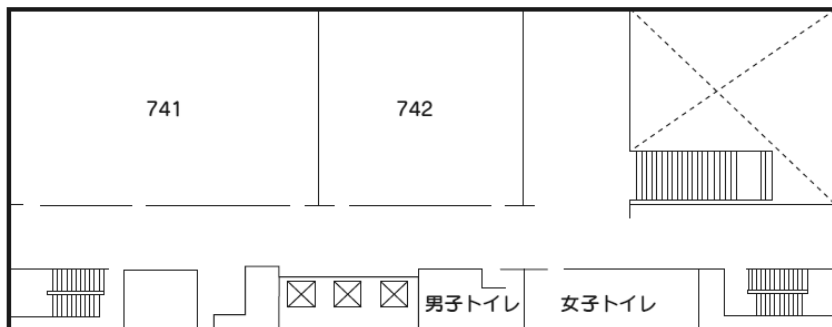
# 会場配置図（5号館5階）



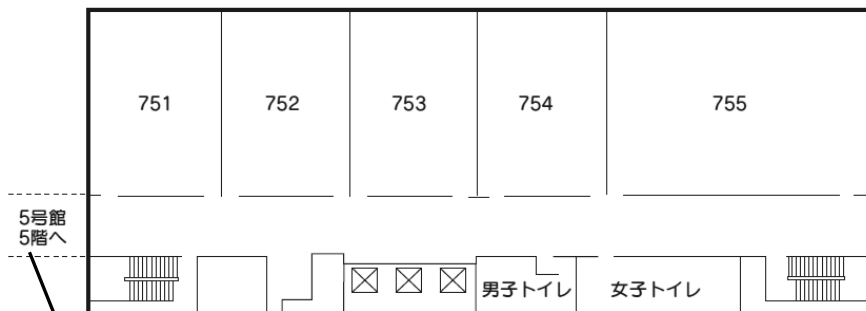
会員控室です。  
配布資料の抜刷も  
こちらにございます。

渡り廊下を渡ると、研究  
発表の会場の7号館に  
移動できます。

## 会場配置図（7号館4階）

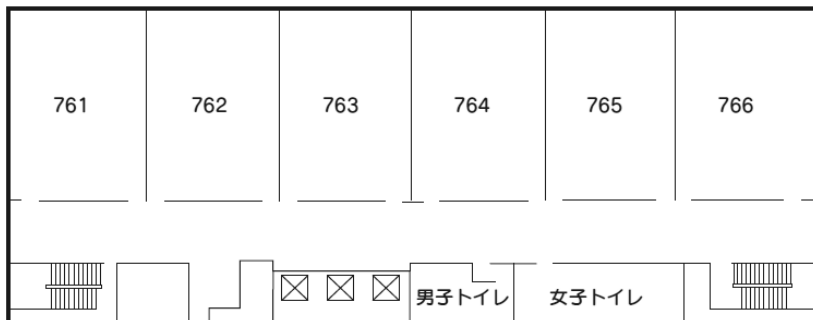


## 会場配置図（7号館5階）



渡り廊下を渡ると、会員  
控室やクロークのある  
5号館に移動できます。

# 会場配置図（7号館6階）





# 若手研究者交流会

9月11日(水) 16:00-18:00

会場: 7号館5階 751・752・753

例年ご好評いただいている若手研究者交流会を、今年度も大会前日(9月11日(水))に開催します。若手研究者交流会は、大学院生をはじめとする若手の教育社会学研究者が研究上の関心や悩みを共有し、大学・研究室をこえた交流を行うことを目的としています。毎年多くの方々のご参加により、若手研究者が互いの親睦を深め、ネットワークを築く場となっております。

昨年度は4つのラウンドテーブルを設けましたが、今年は3つのラウンドテーブルを設ける予定です。いずれか1つのテーブルを選んでご参加いただくことになります。終了後は、例年通り懇親会を開催する予定です。懇親会場は大正大学内を予定しています。

参加をご希望の方は、必要事項を記入のうえ、9月3日(火)までに下記の連絡先までEメールでお申し込みください。(※当日の参加も可能ですが、会場・懇親会の予約の都合もありますので、なるべく事前にご連絡ください。)多くのお申し込みをお待ちしています。

【日時】 2019年9月11日(水) 16:00 ~ 18:00 (終了後に懇親会を予定)

【場所】 大正大学 7号館5階 751・752・753

【参加対象】 大学院生をはじめとしたキャリアの浅い教育社会学研究者(非学会員も可)

【参加費】 無料(※懇親会費は別途ご用意ください。3,500円程度を予定しています。)

【ラウンドテーブル】

1. 留学生・留学経験者のキャリアについて 7号館5階 751  
ファシリテータ: 正楽藍(神戸大学) + 武寛子(神戸大学)  
コーディネータ: 乾美紀(兵庫県立大学) + 利根川佳子(早稲田大学)
2. 初中等教員で大学教員を目指す研究者のキャリアについて 7号館5階 752  
ファシリテータ: 濱本伸彦(京都造形芸術大学) + 長谷川誠(神戸松蔭女子学院大学)  
コーディネータ: 原清治(佛教大学) + 川村光(関西国際大学)
3. 学校臨床社会学の研究法について 7号館5階 753  
ファシリテータ: 若槻健(関西大学) + 西徳宏(大阪大学)  
コーディネータ: 山内乾史(神戸大学) + 浅田瞳(華頂短期大学) + 有廣悠乃(神戸大学大学院)

【連絡先】 hara@bukkyo-u.ac.jp (担当: 原)

<必要事項> Eメールの件名を「若手研究者交流会参加申し込み」とし、本文に、①氏名、②所属(大学院生は学年も)、③学会員か非学会員かの別、④連絡先(メールアドレス)、⑤参加を希望するラウンドテーブルの番号、⑥懇親会参加の有無を記入してください。

【担当】

教育部 部長: 山内乾史(神戸大学)

教育部 副部長: 原清治(佛教大学)、北村友人(東京大学)

テーマ部会 矯正教育と学校教育の接続、協働

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館4階 741

---

司会

高井良健一 (東京経済大学)

- 9:30-9:55      1. 学校教育から矯正教育を経て学校教育へ  
伊藤茂樹(駒澤大学)
- 9:55-10:20    2. 少年院における社会復帰支援としての就学支援  
○田中奈緒子(昭和女子大学)  
服部達也(加古川学園)
- 10:20-10:45   3. 在院少年に対する福祉的支援に関する現状・課題について  
○長尾貴志(四国少年院)  
北川裕美子(四国学院大学)
- 10:45-11:10   4. 教護院・児童自立支援施設を退所した子どもへの支援  
—「アフターケア—生」とアフターケア—  
武千晴(日本女子大学)
- 11:10-11:35   5. 少年院在院中の通信制高校への就学に関する歴史的検討  
仲野由佳理(日本学術振興会)
- 11:35-12:00   総括討論

## 計量分析(1)

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館5階 751

---

司会

濱中義隆 (国立教育政策研究所)

- 9:30-9:55      1. 日本社会における3世代学歴移動の分析  
藤原翔(東京大学)
- 9:55-10:20    2. 高校の設置者をめぐる教育意識  
—中学生と母親パネル調査(JLP-J)データを用いて—  
西丸良一(明星大学)
- 10:20-10:45   3. 学校を経由した学力パネル調査の魅力と課題  
川口俊明(福岡教育大学)
- 10:45-11:10   4. 傾向スコア分析の比較  
中尾走(広島大学大学院)
- 11:10-11:35   5. 教育の収益を測ることはいかにして可能か  
—いくつかの基礎的想定を検討—  
林川友貴(東京大学大学院)
- 11:35-12:00   総括討論







## 教育活動(1)

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館6階766

---

司会

藤田由美子(福岡大学)

- 9:30-9:55      1. 教師は何を保護者に伝えているのか  
—小学校における学級通信の分析から—  
山口真美(大阪大学大学院)
- 9:55-10:20    2. 「適格者」を求める後期中等教育機関に関する一考察  
—課題集中校のフィールドワークから—  
柘澤利也(早稲田大学大学院)
- 10:20-10:45   3. 部活動を通じた生徒の主体性、協働性の育成に関する試論  
—特別活動との比較から—  
長谷川誠(神戸松陰女子学院大学)
- 10:45-11:35   4. 活動場所からみる中学校部活動の実状と課題  
—中学校管理職・教諭・生徒対象の質問紙調査から—  
○西島央(青山学院大学)  
○藤田武志(日本女子大学)  
○矢野博之(大妻女子大学)
- 11:35-12:00   総括討論

## 青少年

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館6階761

---

### 司会

尾場友和(大阪商業大学)

- 9:30-9:55      1. 「ヤンチャな子」たちにとっての家族・「地元」・学校と移行過程  
—公営住宅集積地の生活史・誌調査から—  
西田芳正(大阪府立大学)
- 9:55-10:20      2. 地方課題集中高校における生徒支援の実際と課題  
—3年間にわたるパネル調査の結果から—  
古賀正義(中央大学)
- 10:20-10:45      3. 早期離学者はどのように大人になるのか  
—日本で育つ定住外国人の若者へのインタビューから—  
山野上麻衣(一橋大学大学院)
- 10:45-11:35      4. 外国人生徒の高校卒業後の進路形成に関する研究  
—大阪府立特別枠校の卒業生インタビューより—  
○林貴哉(大阪大学大学院)  
○棚田洋平(一般社団法人 部落解放・人権研究所)  
伊藤莉央(大阪大学大学院)  
王一瓊(大阪大学大学院)  
櫻木晴日(大阪大学大学院)  
植田泰史(大阪大学大学院)  
今井貴代子(大阪大学)  
榎井縁(大阪大学)  
山本晃輔(大阪大学)
- 11:35-12:00      総括討論



## 専門教育

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館6階762

---

司会

吉田文(早稲田大学)

- 9:30-9:55      1. 米国の専門職養成におけるアクレディテーションの多元性  
—心理職養成を事例として—  
丸山和昭(名古屋大学)
- 9:55-10:20    2. 日本の獣医師養成に関する研究  
—収容定員と大学教員養成という視点から—  
原田健太郎(島根大学)
- 10:20-10:45   3. 高等教育の専門分野等による進路の差異と、教育の多様性についての考察  
似内寛(東北福祉大学)
- 10:45-11:10   4. 工業系専門学校における能力認識の形成  
—「コミュニケーション能力」と技能能力の関連—  
○片山悠樹(愛知教育大学)  
岩脇千裕(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)  
児島功和(山梨学院大学)  
尾川満宏(愛媛大学)  
都島梨紗(岡山県立大学)  
内田康弘(愛知学院大学)  
上地香杜(名古屋大学大学院)
- 11:10-11:35   5. 特定職種における専門的スキルの形成要因  
瀬戸健太郎(早稲田大学大学院)
- 11:35-12:00   総括討論



## 文化・ジェンダーと教育

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館6階764

---

### 司会

天童睦子(宮城学院女子大学)

- 9:30-10:20      1. ポスト近代社会における「成長物語」  
—「連続テレビ小説」を手掛かりに—  
    稲垣恭子(京都大学)  
    ○竹内里欧(京都大学)  
    ○濱貴子(富山県立大学)  
    ○井上慧真(帝京大学)  
    佐々木基裕(名古屋女子大学)  
    花田史彦(京都大学大学院)  
    椎名健人(京都大学)
- 10:20-10:45      2. 統制される「不良少女」  
—明治後期から大正期における弘前女学校の事例—  
    ○片瀬一男(東北学院大学)  
    高瀬雅弘(弘前大学)
- 10:45-11:10      3. 高度経済成長期農村におけるサークル活動と女性  
    増田仁(熊本大学)
- 11:10-11:35      4. 男性保育者のライフストーリー  
    新庄洸(早稲田大学大学院)
- 11:35-12:00      総括討論

## 教育政策・制度

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館6階 765

---

司会

小林雅之(桜美林大学)

- |             |   |
|-------------|---|
| 9:30-9:55   | 1. 高校教育の普及と准看護婦をめぐる問題<br>濱沖敢太郎(鹿児島大学)                             |
| 9:55-10:20  | 2. 京都府の高校制度の推移<br>—類型別入試導入の顛末—<br>秋山吉則(京都教育センター)                  |
| 10:20-10:45 | 3. 大学進学をめぐる教育委員会施策<br>—東北地方A県に注目して—<br>中村知世(大月市立大月短期大学)           |
| 10:45-11:10 | 4. 地方自治体による教育費支援の現状・変化・課題<br>白川優治(千葉大学)                           |
| 11:10-11:35 | 5. 政策研究としての質的調査の課題<br>—グループ・インタビューを事例として—<br>西村幸満(国立社会保障・人口問題研究所) |
| 11:35-12:00 | 総括討論  |

## Culture & Diversity

9月12日(木) 9:30-12:00

会場: 7号館5階 755

---

司会

Yang Ju (Hiroshima University)

&

Yukawa Yayoi (Aichi University)

- 9:30-9:55    1. Traumatic Memory after Artificial Abortion and Sex Education in China  
Yang Yiming  
(Graduate School, Nanjing University)
- 9:55-10:20    2. The Reconstruction of Identity  
: a Study of Self-oriented Community Education for the Disabled  
Wang Xiaohao  
(Graduate School, Nanjing University)
- 10:20-10:45    3. Chinese Culture and Teaching Practice of Primary and Secondary School  
Teachers  
OZhou Runzhi (Shenyang Normal University)  
Lu Wei (Shenyang Normal University)
- 10:45-11:10    4. Bilingual Nation in 2030  
: Analysing the Bilingual Education Policy and Practices in Taiwan  
Lin Tzubin (National Taiwan Normal University)
- 11:10-11:35    5. Difference among Similarity  
: A Study on Macau Students' Adjustment Experiences in Taiwanese  
Higher Education Systems  
Jheng Yingjie (National Taiwan Sport University)
- 11:35-12:00    総括討論

テーマ部会 災害と教育

9月12日（木）14：10－16：10

会場：7号館4階741

---

司会

妹尾涉（国立教育政策研究所）

- 14：10－14：35      1. 福島県で避難を続ける中学校の「ふるさと創造学」がはたしてきた役割  
—子ども・学校・地域のヴァルネラビリティと復興—  
濱元伸彦（京都造形芸術大学）
- 14：35－15：00      2. 被災地を／で教育する  
—被災地におけるフィールド型授業の運営と課題—  
山本晃輔（大阪大学）
- 15：00－15：25      3. 被災地の学校に異動する 〈教え—教えられる関係〉と〈ケアの関係〉  
堀健志（上越教育大学）
- 15：25－15：50      4. 震災が学校にもたらしたもの  
—復興の複数性と災害によるヴァルネラビリティー—  
清水睦美（日本女子大学）
- 15：50－16：10      総括討論

## 共生社会

9月12日（木）14：10－16：10

会場：7号館5階751

---

司会

ハヤシザキカズヒコ（福岡教育大学）

- 14：10－14：35    1. 能力主義を問い直す  
    —高校生が生きる「片隅の世界」から—  
    菊地栄治（早稲田大学）
- 14：35－15：00    2. 理想の配分原理と学校教育に対する認識の構造  
    —「共生社会と歴史認識に関する意識調査」データをもとに—  
    ○長創一郎（筑波大学大学院）  
    岡本智周（早稲田大学）
- 15：00－15：25    3. 当事者研究と教育社会学  
    山口毅（帝京大学）
- 15：25－15：50    4. トランスジェンダーに関する立法・政策・研究動向  
    朴炫貞（成城大学）
- 15：50－16：10    総括討論





## 子ども・教育問題

9月12日（木）14：10－16：10

会場：7号館5階753

---

司会

間山広朗（神奈川大学）

- 14：10－14：35 1. 誰がいじめ、誰がいじめられるのか  
真田英毅（東北大学大学院）
- 14：35－15：00 2. 学校問題としての子どもの自殺  
—2000年代以降の「学校の管理下」における自殺事件を中心に—  
今井聖（立教大学大学院）
- 15：00－15：25 3. 「ほめる・認める生徒指導」と機会の平等  
—小学校教員へのインタビューをもとに—  
伊藤秀樹（東京学芸大学）
- 15：25－15：50 4. 児童養護施設で暮らす子どもたちの学校経験  
宇田智佳（大阪大学大学院）
- 15：50－16：10 総括討論

## 教師(1)

9月12日(木) 14:10-16:10

会場: 7号館5階754

---

司会

河野銀子(山形大学)

- 14:10-14:35    1. 高校教師の教育観・改革観を規定する要因(2)  
—高校教師調査2017からの考察—  
○西本裕輝(琉球大学)  
○馬居政幸(馬居教育調査研究所)  
武内清(敬愛大学)
- 14:35-15:00    2. 韓国における教員・教員志望学生の志望動機に関する研究動向  
朴聖希(奈良女子大学)
- 15:00-15:25    3. 教員の「社会的差異」認識の困難と可能性  
—教員集団内における「境界枠」に着目して—  
伊藤莉央(大阪大学大学院)
- 15:25-15:50    4. 「教師であった」とはいかに語られるか  
伊勢本大(松山大学)
- 15:50-16:10    総括討論



## キャリアと教育

9月12日(木) 14:10-16:10

会場: 7号館6階762

---

司会

大島真夫(東京理科大学)

- 14:10-14:35      1. アメリカの大学生のライフプランに見るキャリア教育の課題  
—西部X州立大学の学生が作成したライフプランの分析を中心に—  
西尾亜希子(武庫川女子大学)
- 14:35-15:00      2. 大学生のライフヒストリーにおける短期留学志向の形成プロセス  
小林元気(神戸大学大学院)
- 15:00-15:25      3. ライフストーリー・インタビューによる大学生のキャリア観の考察  
勝又あずさ(関西学院大学)
- 15:25-15:50      4. 高齢期女性の新たなキャリアステージと教育歴  
佐野和子(京都大学大学院)
- 15:50-16:10      総括討論

司会

田中正弘(筑波大学)

- 14:10-14:35    1. 大学の地域教育と出身大学所在地への就職  
—COC+の批判的検討—  
                  小山治(京都産業大学)
- 14:35-15:00    2. 地方大学における専門職養成は属性を超えて若者のキャリア選択に  
影響をおよぼすか  
                  廣森直子(青森県立保健大学)
- 15:00-15:50    3. 「地域学部」の拡大に関する研究  
                  ○猪股歳之(東北大学)  
                  ○稲永由紀(筑波大学)
- 15:50-16:10    総括討論

## 高等教育(学生)(1)

9月12日(木) 14:10-16:10

会場: 7号館6階764

---

司会

沖清豪(早稲田大学)

- 14:10-14:35     1. 南関東における大学・大学院生人口分布の変化  
—小地域統計を用いた分析—  
寺田悠希(東京大学大学院)
- 14:35-15:00     2. 早期卒業制度の特徴と規定要因  
藤井竜哉(東北大学大学院)
- 15:00-15:25     3. 現役の学校教員から見た教職大学院  
—教職大学院で学んだ教員のインタビューから—  
古舘裕之(早稲田大学大学院)
- 15:25-15:50     4. 日本における修士課程の受容  
—1960年代初頭までの期間を対象として—  
齋藤崇徳(独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構)
- 15:50-16:10     総括討論











## 教育問題

9月12日（木）16：20－18：20

会場：7号館5階754

---

司会

岡邊健(京都大学)

- 16：20－16：45    1. 生徒指導と家出に関する一考察  
—児童書に描かれた「家出」イメージの分析から—  
子浦恵(お茶の水女子大学)
- 16：45－17：10    2. 非行少年言説の脱心理主義化？  
知念渉(神田外語大学)
- 17：10－17：35    3. 学校を中心とした非行少年の対人関係とその特徴  
—少年院の量的調査を通じて—  
作田誠一郎(佛教大学)
- 17：35－18：00    4. 非行少年の学校経験  
—更生保護施設在籍者へのインタビュー調査から—  
大江將貴(京都大学大学院)
- 18：00－18：20    総括討論

## カリキュラム

9月12日（木）16：20－18：20

会場：7号館6階761

---

司会

田中統治(放送大学)

- 16：20－16：45      1. 系統知こそが全ての者に欠かせぬ教育内容なのか  
    —近年におけるマイケル・F・D・ヤングによる論理を焦点に—  
    柳田雅明(青山学院大学)
- 16：45－17：10      2. 戦後の保健体育科教科書における性感染症の記述の変遷  
    反橋一憲(早稲田大学大学院)
- 17：10－17：35      3. 「共生教育」の学習成果の評価に関する一考察  
    —南アフリカ共和国のLife Orientationに着目して—  
    坂口真康(兵庫教育大学)
- 17：35－18：20      総括討論

## 教育活動(2)

9月12日(木) 16:20-18:20

会場: 7号館6階762

---

司会

鈴木雅博(明治大学)

- 16:20-16:45    1. 子どもの日常体験を組み替える  
—教科から見る農業体験学習—  
渡邊綾(一橋大学大学院)
- 16:45-17:10    2. カリキュラム・教授法における卓越性の実現を目指す政策展開と改革動向  
—日本・台湾・カナダの比較から—  
劉語霏(中國文化大學)
- 17:10-17:35    3. 教師が一斉授業の中で個人に言及することの会話分析的考察  
石野未架(立命館大学)
- 17:35-18:00    4. 幼稚園年少級における教示場面の構成  
粕谷圭佑(立教大学大学院)
- 18:00-18:20    総括討論

## 特別支援教育

9月12日（木）16：20－18：20

会場：7号館6階763

---

司会

竹内慶至(名古屋外国語大学)

- 16：20－16：45     1. 普通学校就学をめぐる運動言説の変容過程  
                              : 養護学校義務化以降を中心に  
  久保田裕斗(京都大学大学院)
- 16：45－17：10     2. 障害の原因を「脳機能」に置くこと  
                              —学習障害はいかにして「脳機能の障害」となったか—  
  篠宮紗和子(株式会社リクルート)
- 17：10－17：35     3. 障害児に対する「インクルーシブ教育」  
                              —エチオピア・アディスアベバ市における関係当事者の認識を踏まえた  
  予備的考察—  
  利根川佳子(早稲田大学)
- 17：35－18：20     総括討論

高等教育(教員)

9月12日(木) 16:20-18:20

会場: 7号館6階764

---

司会

岩田弘三(武蔵野大学)

- 16:20-16:45     1. 中国における女性大学教員の役割葛藤  
付宇倩(広島大学大学院)
- 16:45-17:10     2. 学習成果の可視化に対する大学教員のストラテジー  
—医学部・客観的臨床能力試験の評価基準の伝達をめぐる事例研究—  
元濱奈穂子(東京大学大学院)
- 17:10-18:00     3. 変容する大学教授職の研究(2)  
—大学教員の社会サービス活動を中心として—  
○有本章(兵庫大学)  
○大膳司(広島大学)  
○黄福涛(広島大学)  
藤村正司(広島大学)  
村澤昌崇(広島大学)  
KimYangson(広島大学)  
浦田広朗(桜美林大学)  
天野智水(琉球大学)  
葛城浩一(香川大学)
- 18:00-18:20     総括討論





## Education Policy

9月12日(木) 16:20-18:20

会場: 7号館5階755

---

司会

Arita Shin (University of Tokyo)

&

Kagawa Mei (Daito Bunka University)

- 16:20-16:45    1. The Construction of Curriculum Under the Culture Governance  
Chang Yahui (Shaanxi Normal University)
- 16:45-17:10    2. Who Benefits from the Curriculum Reforms between Taiwan and  
Macau?  
○Cheng Shengyao (Kent)(National Chung Cheng  
University)  
Lai Manfai (National Chung Cheng University)
- 17:10-17:35    3. The Influence of Parents' Involvement on Social Behavior Development  
of Junior Middle School Students with Rural and Urban Household  
Registration  
: Based on China Education Panel Survey 2014-2015  
Yu Xiyu (Graduate School, Nanjing University)
- 17:35-18:00    4. The Practice and Results of the Institution of Teacher's Trainer in  
Middle School  
Yang Yudong (Nanjing University)
- 18:00-18:20    総括討論

テーマ部会 障害と支援の社会学

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館4階741

---

司会

鶴田真紀(創価大学)

- 9:30-9:55      1. 発達障害児支援における包摂実践の検討  
—放課後児童クラブでの相互行為に着目して—  
保坂克洋(東海大学)
- 9:55-10:20    2. 学級活動に埋め込まれたディスアビリティと子どもの「成長」  
—小学校における連絡帳の相互行為分析—  
佐藤貴宣(日本学術振興会)
- 10:20-10:45   3. 発達障害児支援制度と「発達障害であること」の相互関係  
越川葉子(東京未来大学)
- 10:45-11:10   4. 特別支援教育と「原学級保障」  
—「取り出し」か「入り込み」をめぐる葛藤と  
インクルーシブ教育への展望—  
原田琢也(金城学院大学)
- 11:10-11:35   5. インクルーシブ教育の実践と課題  
—特別支援教育支援員の関係性に着目して—  
山川温(大阪大学大学院)
- 11:35-12:00   総括討論

## 計量分析(2)

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館5階 751

---

司会

多喜弘文(法政大学)

- 9:30-9:55      1. 浪人経験は報われたのか  
    —職業キャリアとの関係から—  
                    香川めい(大東文化大学)
- 9:55-10:20    2. ジェンダー・サブカルチャーと子どもの生活時間の計量的研究  
                    胡中孟徳(東京大学大学院)
- 10:20-10:45   3. 高校生にとっての大学の学部・学科の選択  
    —ジェンダーの観点から—  
                    白川俊之(広島大学)
- 10:45-11:35   4. 若者の生活満足度の変化の様態とその規定要因  
    —高卒パネル調査(JLPS-H)の分析から—  
                    ○佐藤香(東京大学)  
                    ○山口泰史(東京大学)
- 11:35-12:00   総括討論

## 進路と教育

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館5階752

司会

大多和直樹(お茶の水女子大学)

- 
- 9:30-9:55 1. 高卒後進路の情報バイアスと社会階層  
豊永耕平(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. 大学進学に係る費用・便益の情報の社会階層差  
—母親の主観的認識に着目して—  
岩崎達哉(東北大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 学力に対する家庭と学校の影響を区別する  
—国際学力データにみる日本の相対的な位置づけ—  
森いづみ(東京大学)
- 10:45-11:10 4. 母親の就業と親子のかかわり  
—JLSCPの分析から—  
○野崎友花(ベネッセ教育総合研究所)  
木村治生(ベネッセ教育総合研究所)  
邵勤風(ベネッセ教育総合研究所)  
橋本尚美(ベネッセ教育総合研究所)  
岡部悟志(ベネッセ教育総合研究所)
- 11:10-11:35 5. 教師を取り巻く価値観・期待と大学進学をめぐる進路指導  
—僻地A高校に勤務する教師の語りから—  
津多成輔(兵庫教育大学)
- 11:35-12:00 総括討論

## 教育の歴史社会学(2)

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館5階 753

---

司会

佐々木啓子(電気通信大学)

- 9:30-9:55      1. 一九二一年の邂逅  
—戦前期日本の教育社会学史再考—  
竹村英樹(慶應義塾大学)
- 9:55-10:20    2. 戦前期中等学校における学校紛擾の変遷  
—新聞掲載記事に基づく事例の把握から—  
太田拓紀(滋賀大学)
- 10:20-10:45   3. NHK連続テレビ小説草創期の風景  
—小説への意識と映像的課題の間で—  
椎名健人(京都大学大学院)
- 10:45-11:10   4. 近代日本における家族の教育戦略に関する考察  
—大正期生まれの文化人を中心に—  
多賀太(関西大学)
- 11:10-11:35   5. 『あなたの子供のために—6才から12才まで』が語った家庭  
中山良子(和歌山工業高等専門学校)
- 11:35-12:00   総括討論

## 不登校

9月13日（金）9：30－12：00

会場：7号館5階754

---

司会

瀬戸知也（静岡文化芸術大学）

- |             |  |
|-------------|--|
| 9：30－9：55   | 1. 通信制高校の「不登校トラック」化プロセス<br>—私立A高校の事例—<br>土岐玲奈（上智大学）          |
| 9：55－10：20  | 2. 学校教員がもつ学校外の居場所に関する意識について<br>竹中烈（愛知文教大学）                   |
| 10：20－10：45 | 3. 登校拒否はいかに語られたか<br>—1980年代の教育相談番組の分析から—<br>加藤美帆（東京外国語大学）    |
| 10：45－11：10 | 4. 「補完型」フリースクールにおける子どもの変容過程<br>櫻木晴日（大阪大学大学院）                 |
| 11：10－11：35 | 5. 小学生は学校へ通うことをどのように意味づけているのか？<br>○奥村美保（無所属）<br>川口俊明（福岡教育大学） |
| 11：35－12：00 | 総括討論   |

## 教師(2)

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館6階761

---

司会

吉田美穂(弘前大学)

- 9:30-9:55      1. 養護教諭の指導自信と力量形成  
篠原清夫(三育学院大学)
- 9:55-10:20    2. 多職種協働における教員の意識  
—SC・SSW等を常勤配置したF市での質問紙調査の分析—  
保田直美(佛教大学)
- 10:20-10:45   3. 教師の貧困観とその成立背景  
—貧困地域の小学校を事例に—  
栗原和樹(一橋大学大学院)
- 10:45-11:35   4. 教師は何を問題とみなすのか  
—生徒指導実践における教師間連携に着目して—  
○稲葉浩一(北海道教育大学)  
○高嶋江(立教大学大学院)  
山田鋭生(共栄大学)
- 11:35-12:00   総括討論

## 地域社会と教育

9月13日（金）9：30－12：00

会場：7号館6階762

---

司会

高田一宏(大阪大学)

- 9：30－9：55      1. 外国にルーツをもつ子どもの教育支援における学校と学校外組織の連携  
瀬戸麗(大阪大学大学院)
- 9：55－10：20    2. 中国の県内における都市部と農村部の学校間格差  
馬楽(広島大学大学院)
- 10：20－10：45   3. 「島留学」という経験  
—彼らはいかにして自分の教育経験を「語り直す」のか—  
長澤敦士(京都大学大学院)
- 10：45－11：10   4. 日本の教育社会における地域化の趨勢  
村山詩帆(佐賀大学)
- 11：10－11：35   5. 地方における「進学校」の多様性  
—チャーター理論に着目して—  
上地香杜(名古屋大学大学院)
- 11：35－12：00   総括討論





## 大学生

9月13日（金）9：30－12：00

会場：7号館6階764

---

司会

小島佐恵子（玉川大学）

- |             |  |
|-------------|--|
| 9：30－9：55   | 1. 日本人大学生の海外留学をめぐる大学間格差の実態とその変動<br>太田知彩（名古屋大学大学院）                    |
| 9：55－10：20  | 2. ボーダーフリー大学生の学習に関する意識・行動の特徴<br>宇田響（広島大学大学院）                         |
| 10：20－10：45 | 3. 1990年以降における大学生に関する言説の検討<br>山本優（広島大学大学院）                           |
| 10：45－11：35 | 4. 学生たちの象徴闘争<br>—自己アイデンティティとハビトゥス—<br>○片岡栄美（駒澤大学）<br>○小股遼（明星大学（非常勤）） |
| 11：35－12：00 | 総括討論   |



## グローバル化と教育(2)

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館6階766

---

司会

五十嵐洋己(千葉大学)

- 9:30-9:55      1. 台湾における多文化教育の発展のプロセス  
—「十二年国民基本教育」の「本土言語教育」の事例より—  
齋藤幸世(関西学院大学大学院)
- 9:55-10:20    2. 言語教育サービスの商品化  
—教育産業以外の企業が設置した日本語教室で働く教師の経験から—  
瀬尾匡輝(茨城大学)
- 10:20-10:45   3. 中央アジアで教育支援を行う女性たちのキャリア意識  
—日本の国際協力の枠組みの中で—  
平畑奈美(東洋大学)
- 10:45-11:35   4. チェコとスロバキアにおける市民性教育  
—学校カリキュラムの自律性の観点から—  
○川村光(関西国際大学)  
○越智康詞(信州大学)  
○紅林伸幸(常葉大学)  
○加藤隆雄(南山大学)
- 11:35-12:00   総括討論

## Higher Education

9月13日(金) 9:30-12:00

会場: 7号館5階755

---

司会

Li Min (Shinshu University)

&

Huang Futao (Hiroshima University)

- 9:30-10:20      1. Formation and Development of the Concept of the “University” in East Asia  
: Focusing on Translation as a Function  
    ○Yonezawa Akiyoshi (Tohoku University)  
    ○Shimauchi Sae (Tokyo Metropolitan University)  
    Liu Jing (Tohoku University)
- 10:20-10:45    2. Finding a Way Out  
: Taiwanese PhD Holders Teach in China  
    Chang Chenwei (National Academy for Educational Research)
- 10:45-11:35    3. Investigation on Education of Global Citizenship  
: Study on Development of Global Citizenship Education in the Community Universities  
    ○Chen Shumin (Amy)(Tatung University)  
    ○Yang Chousung(National Chi-Nan University)
- 11:35-12:00    総括討論

## カリキュラムの社会学のこれからを問う

9月13日（金）13：50－16：30

会場：7号館1階711

---

司会

金子真理子（東京学芸大学）・岡本智周（早稲田大学）

報告1：澤田 稔（上智大学・非会員）

「批判的教育学に基づく“未来のカリキュラム”に関する一考察」

報告2：渡邊雅子（名古屋大学）

「カリキュラムの見えない「前提」を問い直す

—比較社会学と知識社会学の視点から—

報告3：山本雄二（関西大学）

「教育知と主体

—歴史教科書への「慰安婦問題」記述を例に—

討論者：広田照幸（日本大学）

（研究委員：岡本智周・金子真理子・白松 賢・保田直美）

教育の社会科学実証研究再考  
—教育社会学と教育経済学の共通点と相違点から何を学ぶか—

9月13日（金）13：50—16：30

会場：7号館4階741

---

司会

都村聞人（神戸学院大学）・中澤 渉（大阪大学）

報告1：古田和久（新潟大学）

「教育社会学における実証分析の展開  
—「社会階層と教育」の研究から—

報告2：妹尾 渉（国立教育政策研究所）

「教育経済学におけるエビデンス  
—実証研究の経済学的射程と課題—

報告3：島 一則（東北大学）

「経済の教育社会学」と「教育の経済学」の狭間で考える  
—教育投資収益率研究に着目して—

討論者：篠崎武久（早稲田大学）

討論者：村澤昌崇（広島大学）

（研究委員：都村聞人・中澤 渉・丸山英樹）

ファシリテーションの時代？  
— コミュニカ頼みの限界を超えて —

9月13日（金）13：50—16：30

会場：7号館5階755

---

司会

井上義和（帝京大学）

報告1：中村和彦（南山大学・非会員）

「グループでのコミュニケーションへのファシリテーション」

報告2：田村哲樹（名古屋大学・非会員）

「熟議民主主義におけるファシリテーション」

報告3：牧野智和（大妻女子大学）

「ワークショップの社会学はどのように可能か」

討論者：中野民夫（東京工業大学・非会員）

討論者：小針 誠（青山学院大学）

（研究委員：井上義和・浦田広朗・大内裕和・鶴田真紀・寺崎里水・牧野智和）





〈 第15回 〉

# 児童教育実践 についての 研究助成

ことば、まねび、おうえん。

応募受付中

締切

## 2019.10.31 [Thu.]

Webにて応募受付、詳しくは博報財団ホームページをご覧ください  
<https://www.hakuhofoundation.or.jp/subsidy/>

### 助成期間

2020年4月1日から1年間または2年間  
※2ヵ年助成の場合は1年経過後に中間報告の必要があります。

### 対象となる研究

- 「ことばの力」を育む研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

### 応募資格

- 日本の大学・研究機関に所属する研究者
  - 日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方
- ※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

### 助成金額

1ヵ年助成：1件につき200万円を限度に助成します  
2ヵ年助成：1件につき300万円を限度に助成します

### 審査委員

楠見 孝	京都大学大学院	教授
針生 悦子	東京大学大学院	教授
藤森 裕治	信州大学	教授
本郷 一夫	東北大学大学院	教授 (審査委員長)
横山 詔一	国立国語研究所	教授 (五十音順)

公益財団法人 博報児童教育振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階  
TEL.03-5570-5008 FAX.03-5570-5016



# 社会科学と因果分析

佐藤俊樹 ウェーバーの方法論から知の現在へ  
社会科学とは何をする学問か。従来のウェーバー像とは大きく異なるその社会学の姿を明らかにしつつ考える。四六判 本体2800円

# 社会科学のための

# データ分析入門 上・下

今井耕介／粕谷祐子・原田勝孝・久保浩樹 計量社会科学に必要な、研究の背景に関する知識、プログラミング、統計手法を初歩から丁寧に解説したテキスト。A5判 本体2600円・2700円

# 「宿命」を生きる若者たち

土井隆義 格差と幸福をつなぐもの 本体6200円  
若者を取り巻く社会環境は悪化する一方で、若年層における幸福感や生活満足度は高まっている。なぜか。

# 調査報告 学校の部活動と働き方改革

内田良・上地香社・加藤一晃・野村駿・太田知彩 教師の意識と実態から考える 本体6200円  
部活動指導は、どんな世代、専門、経験をもつ教師の負担になっているのか。独自の全国調査から考察。

# 手で見えるいのち

柳楽未来 四六判 本体1500円  
目の見えない子どもたちが動物の骨を触って学ぶ、四〇年も続く「生物」の授業とは？ 新鮮な感動をよぶルポ。

岩波書店



〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5  
<http://www.iwanami.co.jp/>

[定価は表示価格+税]

的確に社会を読みとり、課題に挑む

# 社会と調査

## No.22 特集 社会調査に携わる人のためのビッグデータ入門

ビッグデータと社会調査……神林博史  
ビッグデータとは何か……笹原和俊  
社会学におけるビッグデータ分析の可能性……瀧川裕貴  
データジャーナリズムの歩みと可能性……奥山晶二郎  
ビッグデータによって変わる未来の公的統計……水野貴之  
ビッグデータ分析の実践にむけて……神 剛史

吉野諒三 / Wolfgang Jagodzinski / 真鍋一史 / 橋爪裕人 / 齋藤曉子 / 水野一成 / 伊地知紀子 / 小山弘美 / 藤前貴史 / 中村 隆 / 筒井淳也 / 大久保佑樹 / 宮本みち子 / 佐藤郁哉 / 山中速人 / 三浦典子 / 江頭大蔵 / 浅原寛子 / 木村治生 / 山本 努 / 藤井和佐 / 谷 富夫 / 古賀正義 / 石田 浩 / 堀 有喜衣 / 高田佳輔 / 江口達也

購入方法 『社会と調査』は年2回発売(3月,9月)

- 研究室や図書館などでの定期購読をおすすめします。発売元の京都通信社にメールでお申し込みください。
- 個人購読は、もよりの書店を通じてお申し込みください。※会員の方がたには、特典の1つとして無料配布しています。※社会調査協会では販売を行っておりません。



定価 本体1,200円+税

発行・編集 一般社団法人 社会調査協会  
東京都文京区本郷 5-25-18 メゾン鈴博 3F (113-0033)  
TEL: 03-6273-9784 FAX: 03-5684-0374  
<http://jasr.or.jp/>  
入会申し込みについては、本協会ホームページをご覧ください。

制作・販売 株式会社 京都通信社  
京都市中京区室町通御池上る御池之町 309 (604-0022)  
TEL: 075-211-2340 Mail: [shigotoba@kyoto-info.com](mailto:shigotoba@kyoto-info.com)  
<http://www.kyoto-info.com/>  
書店にない場合は、京都通信社までお問い合わせください。

## アメリカの大学スポーツ

——腐敗の構図と改革への道

ジェラルド・ガーニー ドナ・ロピアノ 他著  
宮田由紀夫 訳

NCAAを参考に日本では大学スポーツ協会が設立されたが、本家の問題を検証し、教育活動としての大学スポーツを提案する最新書。  
A5判上製・324頁 本体4,200円

## 専門職としての教師教育者

——教師を育てるひとの役割、行動と成長

ミーケ・ルーネンベルク ユリエン・デンヘルク 他著  
武田信子 山辺恵理子 監訳

働き方、学びの支援の方法など、過去20年間の各国の教師教育者の専門性開発に関する先行研究を網羅的に紹介。  
A5判並製・216頁 本体2,800円

## 大学教育再生とは何か

——大学教授職の日米比較

有本章 著

中世の大学から近代の大学に至る歴史に学びつつ、米国と比較した日本の大学や大学教授職の現状と課題を社会的に分析する。  
A5判上製・592頁 本体6,200円

## 大学の国際化とODA参加

萱島信子 著

日本の政府開発援助 (ODA) に関し、国際化を図る大学が増えている。三大学の文献や統計資料から、ODA参加が大学の国際化にもたらした影響を実証し、連携のあり方を提言。  
A5判上製・352頁 本体5,400円

玉川大学出版部

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940 [価格税別]

## 月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、448円＋税

2019年 特集

9月号 資質・能力を育む言語能力の育成

7・8月合併号 AI時代の教育

AI時代に身につけたい資質・能力とは1

6月号 新学習指導要領における学習評価について

5月号 主体的・対話的で深い学びが授業を変える

4月号 カリキュラム・マネジメントが学校を変える

3月号 資質・能力を伸ばす評価活動

1・2月合併号 『教育展望』創刊700号を語る

2018年 特集

12月号 第47回教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第47回教育展望セミナー 全体会報告

10月号 教育の情報化の動向と課題

9月号 巨大地震に備える防災教育の視点

7・8月合併号 改めて問う、深い学びとは

6月号 学校における働き方改革を促す

5月号 子どものいじめ・自殺問題と学校教育

4月号 新しい学校文化の創造

3月号 新学習指導要領から見える新しい授業像

1・2月合併号 明日をみざす日本の教育像

## 「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料  
A5判、2381円＋税

№51 (第48回教育展望セミナー)

2019年7月発行、124頁

これからの時代に向けた教育の改革と創造  
—AIの時代を視野に入れた教師力—

№50 (第47回教育展望セミナー)

2018年7月発行、124頁

資質・能力を育成する教育課程の編成と実施II

一般財団法人

教育調査研究所

[理事長 新井郁男]

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10  
TEL: 03-3238-6974 FAX: 03-3238-6975  
E-Mail: chouken@estate.ocn.ne.jp

# 教育研究の新 ニューチャプター章

編集委員 上田 晶・丸山英樹・青木 栄一・濱中淳子・仁岸典宏・石井英真・岩下誠

二〇四四年の体制から一五年大きな変換を待っている教育研究。その新たな動向を、発刊部を拡大する二〇二〇年の改訂を期して、知的・自由・対話・活性・共創・教育のあり方を、編集委員による討議も取り入れ、

近刊 広瀬裕子 二編

分科「グローバル化をキーワードに近代社会が拡大成熟した段階の教育状況を考察する」

執筆者 五十井英典・大橋敦行・近谷剛彦・北村友久・小玉重夫・大田夏代・長嶺宏作・広瀬裕子

●ポスト・グローバル化社会の教育「仮題」

子価 2800円

日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ 二編  
●教育勅語と学校教育

◎教育勅語の教材使用問題をどう考えるか

2400円

福元真由美 《保育実践において相互助と共生協働の未来像を描く―革新保育の源流―

都市に誕生した保育の系譜

◎アソシエーション・シムスと郊外のユートピア

3500円

谷川至孝  
英国労働党の教育政策「第三の道」

◎教育と福祉の連携

3000円

岩田 一正  
教育メディア空間の言説実践

◎明後後期から昭和初期までの教育問題の構成

3500円

平井悠介  
エイミー・ガットマンの

教育理論

2400円

広田照幸・宮寺晃夫 二編  
教育システムと社会

◎の理論的検討

3000円

平井秀幸 日本社会心理学会活動史

◎認知行動療法・新自由主義的規律・統治性

6200円

刑務所処遇の社会学

2400円

下司 晶 二編  
「甘え」と「自律」の教育学

◎ケア・道徳・関係性

2000円

是澤博昭  
軍国少年少女の誕生とメディア

◎子ども達の日清戦後交流

2600円

吉川卓治  
「子ども銀行」の社会史

◎学校と貯金の近現代

2400円

北村和夫  
オートボーイエーシス

◎の構造と作動パターン

2800円

大田直子  
現代イギリス「品質保証

国家」の教育改革

◎の品質保証

2400円



世織書房

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176 / FAX045-319-0644  
seori@nifty.com http://seorishobo.com (税抜)

## ベネッセの調査・研究活動

ベネッセ教育総合研究所では、子どもたちのよりよい生活や育ちの環境、学習のあり方を追究していくために、子育て・教育のさまざまな側面に焦点をあてて調査・研究を行っています。

### ■ 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究 「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2018」ダイジェスト版 (2019年9月頃公開予定)

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所は、2014年に、全国の小学1年生～高校3年生の子どもとその保護者約2万1千組の調査モニターを対象に、毎年1回以上での定期的な調査(親子パネル調査)を実施する共同研究プロジェクトを発足しました。

2018年(Wave4)の主な結果をまとめた本ダイジェスト版では、2015年(Wave1)との経年比較により、12学年の子どもの「生活」に関する「時代変化」を捉えるとともに、同じ子どもとその保護者の2015年からの「成長・発達」について、分析しています。

今後も毎年、同じ子どもと保護者を調査し、子どもの生活や学習、保護者の子育ての様子など、親子の「成長・発達」とその因果関係を明らかにしていきます。



ベネッセ教育総合研究所で実施している各調査結果は、以下のウェブサイトにてご覧いただくか、報告書などのタイトルでご検索ください。 \* 調査報告書の販売はしておりません。ご了承ください。

<https://berd.benesse.jp/>

## 置き去りにされた高校生たち 加速する高校改革の中の「教育困難校」

●朝比奈女 著 ●四六判 224頁 ●定価 本体 800円＋税  
ISBN978-4-7619-2488-1

大学入試改革、学習指導要領改訂と改革の続く高校で、置き去りにされた高校生はいないか。教育困難校の実態から高校改革の課題に迫る渾身のルポ。

対象・高校教師その他般

## 子どもの貧困・不利・困難を越える学校 行政・地域と学校がつながって実現する子ども支援

●柏木智子・仲田康一 編著 ●A5判 160頁 ●定価 本体 800円＋税  
ISBN978-4-7619-2615-0

困難な状況にある子どもたちに、学校は学校として何ができるのか。そして、行政・地域とはどう連携を図ればよいのか。具体的な実践を紹介しながら、その方途を示す1冊。

対象・小中高校管理職

## 月刊生徒指導

●毎月13日発売 ●A5判  
●定価 本体 800円＋税 年間誌代 12600円(税込) (増刊2冊含む)

小学校から高校の先生を対象とした、生徒指導の諸課題への取り組み方と、学級経営の技術や考え方を論じた雑誌。

対象・小中高等学校教師 生徒指導担当教員

## 月刊高校教育

●毎月13日発売 ●B5判  
●定価 本体 900円＋税 年間誌代 14600円(税別) (増刊2冊含む)

高校教育の現状や課題を鋭く追求し、学校経営の考え方と事例を満載した、高等学校管理職必携の雑誌。

対象・高等学校管理職

**G 学事出版**

☞注文は

TEL03-3253-4626 FAX 0120-655-514  
http://www.gakuji.co.jp

耳塚寛明・中西祐子・上田智子 編著

## 平等の教育社会学

現代教育の診断と処方箋

教育達成や学力格差の問題に焦点を当てて調査分析し、解決策を示す。

石田浩 監修、佐藤博樹・石田浩 編

A5判上製 256頁 本体 2800円 ISBN978-4-326-62822-2

出会いと結婚「シリーズ 格差の連鎖と若者②」  
未婚から既婚への移行と親役割の取得を分析し、現実を読み解く。

お茶の水女子大学グローバルシップ研究所 編

四六判上製 280頁 本体 2500円 ISBN978-4-326-65211-5

## 女性リーダー育成のために

グローバル時代のリーダーシップ論

国際社会で求められるリーダー像とリベラルアーツ教育とは何か。

田中亜以子

A5判上製 280頁 本体 4000円 ISBN978-4-326-60317-6

## 男たち／女たちの恋愛

近代日本の「自己」とジェンダー

恋愛という近代的観念の形成は、男／女に何をもたらしたのか検証。

久富善之・長谷川裕・福島裕敏 編著

A5判上製 512頁 本体 5000円 ISBN978-4-326-25127-8

## 教師の責任と教職倫理

経年調査にみる教員文化の変容

全国10の地域と震災被災地の教師への質問紙調査による実証分析。

荒牧草平

A5判上製 260頁 予備 3500円 ISBN978-4-326-60310-0

## 教育格差のかくれれた背景

親のパーソナルネットワークと学歴志向

教育格差の背景にある親の学歴志向とその要因に調査から迫る。

清水陸美・妹尾渉・日下田岳史・堀健志・松田洋介・山本宏樹

A5判上製 240頁 予備 3200円

## 震災と学校のエスノグラフィ

近代教育システムの慣性と摩擦

被災中学校の教師と子どもの8年をエスノグラフィによって描く。

※近刊



勁草書房

http://www.keisoshobo.co.jp

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

\*表示価格は税抜

# 教育社会学の20人

—オールラブル・ヒストリーでたどる日本の教育社会学—

日本教育社会学会 編著

加野 芳正 責任編集

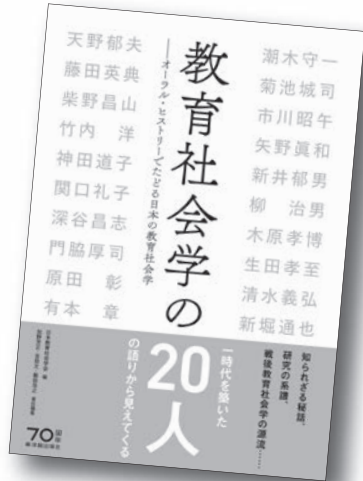
吉田 文 責任編集

飯田 浩之 責任編集

戦後発足した「教育社会学」という学問領域。

その源流をつくり、発展を支えてきた20人の研究者たちへのインタビューから立ち上がってくるのは、戦後教育社会学がどのような発展し、継承され、そしてどのような研究の系譜が現在につながっているのか、その生の声である。

当時明かされることのない新しい事実や、意外な関係、同時代の研究者への評価、権力・差別との闘い……各分野を代表する研究者達の歩み、そしてリアルな姿が、行間から見てくる。



本体価格 3,700円 出版年月：2018年 08月



東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号

TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208

## 北大路書房

〒603-8303

京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

<http://www.kitaohji.com>

### 情報時代の学校をデザインする

一学習者中心の教育に変える6つのアイデアー C. M. ライグルース・J. R. カノッパ著 稲垣 忠・中島 康二・野田啓子・細井洋実・林 向達共訳 A5・192頁・本体2200円＋税 教育現場での取組の中からパラダイム転換を起こす原則や方法を紡ぎ出し、変化に対する混乱や葛藤を乗り越える術を提案。ピーター・センゲらの諸理論も付録に収録。

### 転職の意味の探究

一質的研究によるキャリアモデルの構成ー 安藤りか著 A5上製・164頁・本体5500円＋税 転職に対する否定的な認識に一石を投じ、心理・社会・文化的文脈から検討。多様なキャリアモデルを整理したうえで、頻回転職者たちの語りを質的研究法で分析。一企業キャリアと対照をなす「富裕層キャリアモデル」の提示に挑戦する。

### 現代日本社会の権力構造

浅野正彦・ジル・スティール編著 A5上製・372頁・本体4500円＋税 この国の権力はどうか変わったのか？ 社会や政治の領域で地位、影響力、正統性、知識という形で現れる権力や権威が、いかに獲得・行使されているのか、学際的な視点で迫る。職場などの日常的な場面から国政まで、権力の変遷を多角的に考察、その文脈依存性を浮き彫りにする。

### 言葉と数式で理解する多変量解析入門

小杉孝司著 A5・260頁・本体2500円＋税 文系読者向けの好評入門書の改訂改題版。多変量解析の全体像を「概念的」に理解し、かつ「数理的」な筋道も追えるよう解説。ベイズ統計の導入を見据え確率分布や推定方法の理論、また一般化線形モデルにも言及。統計環境は、R/RStudioに対応。社会調査士 教科目「量のデータ解析」に準拠。

### 社会的ネットワークを理解する

C. カドゥッソ著 / 五十嵐 祐監訳 3400円＋税

### 家族実践の社会学

D. H. J. モーガン著 / 野々山久包・片岡佳美訳 4500円＋税

### はじめてのR

村井潤一郎著 1600円＋税

### 沈黙の螺旋理論 [改訂復刻版]

E. ノエル・ノイマン著 / 池田謙一・安野智子訳 4700円＋税

### 〈当事者〉をめぐる社会学

宮内 洋・好井裕明編著 2800円＋税

### SPSSのスズメ1・2

竹原卓典著 1: 3200円＋税, 2: 5700円＋税

### 心の中のブラインド・スポット

M. R. バナージ他著 / 北村英哉・小林知博訳 2400円＋税

### 認知や行動に性差はあるのか

P. J. カプラン・J. B. カプラン著 / 森永康子訳 2800円＋税

### 質的研究ハンドブック [全3巻]

N. K. デンジン他著 / 平山潤義監訳 4600円～5600円

シリーズ「子どもの貧困」

シリーズ編集代表 松本伊智朗  
全5巻 A5判/並製/各巻2800円

子どもの貧困の再発見から10年。この10年間の政策・実践・研究を批判的に検討し、子どもの貧困を議論する枠組みを提供する。新・スタンダードの誕生！

① 生まれ、育つ基盤

子どもの貧困と家族・社会

② 遊び・育ち・経験

子どもの世界を守る

③ 教える・学ぶ

教育に何ができるか

④ 大人になる・社会をつくる

若者の貧困と学校・労働・家族

⑤ 支える・つながる

地域・自治体・国の役割と社会保障

シリーズ A5判/上製/各巻2800円  
**学力格差(全4巻)**

志水宏吉 監修

第1巻(統計編) 川口俊明 編著

第2巻(家庭編) 伊佐夏実・前馬優策 編著

第3巻(学校編) 若槻健・知念渉 編著

第4巻(国際編) ヘンリキカス・山田大祐・シムチェンキヤット 編著

学力格差に向き合う学校  
教育戦略

世界のしんどい学校

**教育学へのレッスン**

松本伊智朗・宮嶋隆志・白水浩信 編著 ◎予価2000円

**新自由主義的な教育改革と学校文化**

大阪の改革に関する批判的教育研究  
濱元伸彦・原田琢也 編著 ◎3800円

**前川喜平 教育のなかのマイノリティを語る**

高校中退・夜間中学・外国につながる子ども・LGBT・沖縄の歴史教育  
前川喜平・青砥恭・関本保孝・善元幸夫・金井景子・新城俊昭 著 ◎1500円

**ドイツの道徳教科書**

5、6年実践哲学科の価値教育 ◎2800円  
ロラント・ヴォルフガング・ヘンケ 編集代表 濱谷佳奈 監訳

**外国人児童生徒受入れの手引(改訂版)**

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課 編著 ◎800円

**OECD保育の質向上白書**

人生の始まりこそ力強く：ECECのツールボックス  
OECD 編著 秋田喜代美 ほか 訳 ◎6800円

**明石書店**

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5 \*目録送呈  
http://www.akashi.co.jp/ 振替00100-7-24505

TEL. 03-5818-1171  
FAX. 03-5818-1174

新刊  
井上慧真 著

**若者支援の日英比較**

社会関係資本の観点から

「成人期への移行」とその危機を、誰がいかに支えるのか。

渡辺哲男・勢力尚雅・山名淳・柴山英樹 編著 ◆196頁 1900円

**言葉とアートをつなぐ教育思想**

パウルクレー、「君の名は」、「原爆の絵」、三木清―  
「教育の新たな世界を切り開く画期的な研究成果。」

丹松美恵子・丹松美代志 著 ◆242頁 2700円

**教えるから学ぶへ**

協同的学びとの出会い  
佐藤学氏(元日本教育学会会長)推薦。

「協同的学びの実践例をたどり収録した入門書。」



好評既刊  
**現代ドイツにおける学校制度改革と学力問題**

布川あゆみ 著 ◆7200円 進む学校の終日化と問い直される役割分担のあり方

**女性教員のキャリア形成**

楊川 著 ◆5500円 女性学校管理職はどうすれば増えるのか？

**学習社会学の構想**

赤尾勝己 編著 ◆26000円

**大学生のための社会学入門**

篠原清夫・栗田真樹 編著 ◆2200円 日本学術会議 参照基準に対応

**アカデミック・ライティングの基礎**

西川真理子・橋本信子・山下香・石黒太・藤田里実 著

資料を活用して論理的な文章を書く  
◆1700円

学術図書出版  
**晃洋書房**

京都市右京区西院北矢掛町七番地  
TEL 075(312)0788 / FAX 075(312)7447 ※表示価格は税別



◀近刊▶

◀好評発売中▶

# 教師のメソッドロジ

社会的に教育実践を創るために  
北澤毅・間山広朗 編著 A5判 2100円

# 変動社会と子どもの発達

教育実践への社会的貢献 社会的教育実践を具体的に提示  
住田正樹・高島秀樹 編著 A5判 2100円

# 未来を創る教育制度論

未来の教師ファースト・ステップ改訂版  
川口洋章・中山弘之 編著 A5判 2100円

# 教養としての教育学

教育制度の役割、歴史、教育法のしくみ等、現状と課題を解説  
藤原政行 編著 A5判 1900円

# 短期大学教育の新たな地平

安部恵美子・南里悦史 編著  
岡部美香 編著 A5判 2200円

# 子どもと教育の未来を考えるII

武田明典 編著 B5判 1800円

# 自己成長を目指す教職実践演習テキスト

原田恵理子・森山賢一 編著 B5判 1600円

# 現代日本の教育を考える

岩本俊郎・浪本勝年 編著 A5判 1400円  
岩本俊郎・浪本勝年 編著 A5判 1300円

# 子ども人間学」という思想と実践

生田久美子・安村清美 編著 2020年3月刊行予定  
フラット・ライフ — それぞれの「日常」からみえる社会  
ふらっと教育パートナーズ・伏見裕子 編著 2020年3月刊行予定  
人権&セクシュアリティを学ぶ、あたらしい「入門書」。



北樹出版

〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-2-6 <http://www.hokuju.jp> (価格税別)  
TEL 03-3715-1525 FAX 03-5720-1488 E-Mail [eigy1@hokuju.jp](mailto:eigy1@hokuju.jp)

## 【新装版】学歴社会のローカル・トラック 地方からの大学進学

吉川徹 著

四六判・並製・258頁 定価(本体2900円+税)

地方出身の若者はどのように進路を選択し、高校卒業後の人生を歩んでいるのか。島根県のある高校のクラスを対象に、追跡調査を経て彼らのライフストーリーを追う。質的・量的調査双方によるモノグラフから、学歴社会の中で生きる人々の姿を明らかにした。世界思想社より2001年に刊行された『学歴社会のローカル・トラック』の新装版。

# 分断社会と若者の今

吉川徹・狭間諒多朗 編

「若者論」にありがちな、印象論や若者を一括りにした議論ではなく、データに基づく議論を行うことで、若者の今を分析する。政治、幸福、消費、労働、ジェンダー等のトピックから、若者の意識の中にある分断を描き出す。

四六判・288頁 定価(本体2500円+税)

# ウエルビーイングを 実現する学力保障

教育と福祉の橋渡しを考える  
高田一宏 著

子どもの貧困・社会的排除の深刻化による学力格差を広げないために、学校はどのようにあるべきか。

貧困・生活困窮層の学力・進路保障を実現する「チーム」としての学校づくりのポイントを提示する。

A5判・244頁 定価(本体4500円+税)

## シリーズ人間科学

### ② 助ける

渥美公秀・稲場圭信 編  
定価(本体2000円+税)

### ③ 感じる

入野野宏・綿村英一郎 編  
定価(本体2000円+税)

# 大阪大学出版会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-7 大阪大学ウエストフロント  
TEL.06-6877-1614 FAX.06-6877-1617 e-mail:[info@osaka-up.or.jp](mailto:info@osaka-up.or.jp)

## 文系大学教育は 仕事の役に立つのか

職業的レトリバンスの検討  
本田由紀 編  
様々な調査・編度から検討。2,600円

## アクティブラーニング 批判的入門

大学における学習支援への挑戦4  
中国篤典・谷川裕穂 編  
内心の自由と主体的学び。2,400円

## 大学における 多文化体験学習への挑戦

国内と海外を結ぶ体験的学びの可視化を支援する。村田晶子 編著  
教育デザインと学びの意義。2,900円

## 社会調査のための 計量テキスト分析

内容分析の継承と発展を目指して  
樋口耕一 著  
CAQDAの活用と事例。2,800円

## 質的研究のための 理論入門

ポスト実証主義の諸系譜  
P.ソフッド 著・箕浦康子 監訳  
の確かかつ明快に解説する。3,800円

## 実践的メタ分析入門

戦略的・包括的理解のために  
岡田涼・小野寺孝義 編著  
メタ分析の準備から応用研究までを解説。2,800円

## テストは何を測るのか

項目反応理論の考え方  
光永悠彦 著  
公平なテストのための理論とその実施法をわかりやすく解説。3,500円

## 反「大学改革」論

若手からの問題提起  
藤本夕衣・古川雄輔・渡邊浩一 編  
より望ましい方向性を模索しながら未来の展望を切り開く。2,400円

## 大学における 海外体験学習への挑戦

子島進 藤原孝章 編  
様々な大学におけるプログラムを分析し、よりよい実践をめざす。2,800円

## 最強の社会調査入門

これから質的調査をはじめるときのために  
前田拓也・秋谷直下・朴沙羅・木下衆編  
16人の社会学者が伝授する、失敗体験も含めた社会調査の極意。2,300円

## 大学卒業研究ゼミの 質的研究

山田嘉徳 著  
先輩・後輩関係がつくる学びの文化への状況的学習論からのアプローチ  
学びのモデルを構築する。4,000円

## 心理学・社会科学研究のための 構造方程式モデリング

村上隆・行廣隆次 監修編  
JISによる実践 基礎編  
基本原理から丁寧に解説。3,800円

ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111 〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15  
FAX 075-723-0095 http://www.nakanishiya.co.jp/ (税抜価格)

# 月刊 先端教育

リカレント、ラーニング、人材育成  
月刊 先端教育  
ADVANCED LEARNING

創刊準備号  
読者登録員とは何ぞや  
発行所：〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 先端教育機構  
〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 先端教育機構  
〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 先端教育機構  
〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 先端教育機構



大きく変わる  
教育界  
9月創刊!

## 社会は変わる。教育は変わるか？

- ▶ 社会変化を読み解き、教育の未来を描く「教育総合誌」
- ▶ 学校教育はもちろんリカレント教育、企業内人材育成、就学前教育など、あらゆる「学び」を多彩な切り口で分析
- ▶ 無料オンラインメディアも年内スタート

### ◎ 特集予定

- 10月号 AI人材25万人計画の成否 / 見直される企業内大学
- 11月号 忍び寄る学校倒産時代～学校法人経営の最前線～
- 12月号 揺らぐ性、変わる教育 / 働き方改革の成果と展望

\*雑誌の最新情報、定期購読申込は [www.sentankyo.ac.jp](http://www.sentankyo.ac.jp) から

A4変形版、128P、本体1,500円＋税

2019年9月創刊  
毎月15日発行予定



文部科学大臣認可  
学校法人 先端教育機構  
Advanced Academic Agency

先端教育機構出版部（事業構想大学院大学内）  
〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 313南青山6F  
TEL：03-3478-8402 Email：info@sentankyo.ac.jp

# 趣味の社会学 文化・階層・ジェンダー

片岡栄美

ブルデューの『ディスタンクシオン』の問題意識と方法を共有しながら、社会調査や計量分析を基に、日本における文化的オムニボアという特性とジェンダーによる文化の差異を浮き彫りにする。 定価4000円+税

## 〈ヤンチャな子ら〉のエスノグラフィー

ヤンキーの生活世界を描き出す

知念 涉

ヤンキーは何を考え、どのようにして大人になるのか。高校で3年間をともに過ごし、高校を中退／卒業してからも継続して話を聞いて、社会関係を駆使して生き抜く実際の姿を照らす。 定価2400円+税

青弓社

162-0801 東京都新宿区山吹町337

電話 03-3268-0381 <https://www.seikyusha.co.jp/>

2019年7月30日発行

発行者 日本教育社会学会 第71回大会実行委員会

〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1

大正大学 人間学部教育人間学科・高野研究室

E-mail : [jses71@outlook.jp](mailto:jses71@outlook.jp)

TEL/FAX : 03-5394-3128 (教育人間学科閲覧室／高野研究室)

印刷所 よしみ工業株式会社



## ダイバーシティ時代の教育の原理

—多様性と新たなつながりの地平へ—

●藤田由美子・谷田川ルミ 編著  
A5判\*224頁/本体2200円

「ジェンダー」や「ダイバーシティ」の視点から編まれた教育原理テキスト。理念・思想・歴史に加え、公共性、カリキュラム、社会的養護、外国につながる子どもやLGBTの子どもたちへの教育を扱う意欲作。



## SDGs時代の教育

—すべての人に質の高い学びの機会を—

●北村友人・佐藤真久・佐藤学 編著  
A5判\*304頁/本体3000円

SDGsの実現に向けて、人々が地球規模の課題に対して問題意識を高め、科学技術を発展させていくため、人間にとって根源的な営みである教育を通じた人材育成や知の創出を目指す。



## 身体文化・メディア・象徴的権力

—化粧とファッションの社会学—

●黄順姬 著  
四六判\*292頁/本体2500円

身体文化・消費・象徴的権力の観点から化粧・ファッションを鋭くとらえ、現代日本における再帰性を読み解く。就職活動にみるファッションと象徴的権力や若者の化粧・ファッションの文化的意味等を考察。



## 近代日本の生活改善運動と〈中流〉の変容

—社会教育の対象/主体への認識をめぐる歴史的考察—

●久井英輔 著  
A5判\*408頁/本体7500円

大正・昭和初期のメディアのあり方から、都市・新中間層の実状あるいは〈中流〉をめぐる認識の変容との関連を、日常生活の意図的な変化を目指した理念や実践の様式的特徴から論考する。

## 教育の基礎と展開 第二版

—豊かな保育・教育のつながりをめざして—

●高野良子・武内清 編著 200頁▼本体2000円

## 比較教育社会学へのイメージ

●原清治・山内乾史・杉本均 編著

264頁▼本体2200円

## 男子問題の時代?

—錯綜するジェンダーと教育のポリティクス—

●多賀太 著 240頁▼本体2200円

## 大学生のキャリアとジェンダー

—大学生調査にみるキャリア支援への示唆—

●谷田川ルミ 著 196頁▼本体2700円

教師のための教育学シリーズ

教師のための教育学シリーズ編集委員会 監修

## ⑩ 生徒指導・進路指導 第二版

●林尚示・伊藤秀樹 編著 228頁▼本体2200円

## ⑪ 子どもと教育と社会

●腰越滋 編著 202頁▼本体2100円

教師教育テキストシリーズ5

## 教育社会学 第二版

●久富善之・長谷川裕 編 208頁▼本体1900円

## 日本の教育を捉える 一現状と課題

●望月重信・播本秀史・岡岡秀忠・石井久雄 編著

218頁▼本体2300円

## 「学校教育と社会」ノート 第2版

—教育社会学への誘い—

●山内乾史 著 174頁▼本体1800円

## 新版 教育社会とジェンダー

●河野銀子・藤田由美子 編著 208頁▼本体2100円

## LGBTと女子大学

—誰もが自分らしく輝ける大学を目指して—

●日本女子大学人間社会学部LGBT研究会 編  
64頁▼本体1000円

## 保育者の危機と専門的成長

—幼稚園教員の初期キャリアに関する質的研究—

●谷川夏実 著 176頁▼本体3200円

## 理系教職のための教育入門

●東野充成・谷田川ルミ 編著 200頁▼本体2100円

## 女性・人権・生きること

—過去を知り 未来をひらく—

●天童睦子 著 196頁▼本体1000円

【最新刊】**文部科学省の解剖**  
青木栄一編著  
A5・上製・二九六頁・三二〇〇円

【最新刊】**塾…私的補習ルールの国際比較**  
M・ブレイ／O・クウォ著 森早坂・佐久間・田中・高嶋・大和訳  
A5・並製・一八四頁・二〇〇〇円

【最新刊】**いま、教育と教育学を問い直す**  
—教育哲学は何を究明し、何を展望するか  
森田尚人・松浦良・充編著  
A5・上製・三四四頁・三二〇〇円

【最新刊】**教育的関係の解釈学**  
坂越正樹監修 丸山恭司・山名淳編  
A5・上製・二八〇頁・二八〇〇円

【最新刊】**21世紀型学習成果と大学教育の方向性**  
山田礼子著  
A5・上製・二八〇頁・三二〇〇円

【最新刊】**ネオリベラル期教育の思想と構造**  
—書き換えられた教育の原理  
福田誠治著  
A5・上製・六六四頁・六二〇〇円

越境ブックレットシリーズ(各A5・並製、続刊)

【最新刊】**①教育の理念を象る**  
—教育の知識論序説  
田中智志著  
A5・並製・一六〇頁・二二〇〇円

【最新刊】**①知識論**  
—情報クラウド時代の「知る」という営み  
山田肖子著  
A5・並製・二〇〇頁・一〇〇〇円

【最新刊】**〔高等教育研究論集第1巻〕大学の組織とガバナンス**  
羽田貴史著  
A5・上製・三三六頁・三五〇〇円

【最新刊】**長期学外学修のデザインと実践**  
—学生をアクティブにする  
澤邊潤・木村裕斗・松井克浩編著  
A5・上製・三三六頁・三二〇〇円

【最新刊】**国際共修…文化的多様性を生かした授業実践のアプローチ**  
末松和子・秋庭裕子・米澤由香子編著  
A5・上製・三二八頁・三二〇〇円

【最新刊】**グローバルに問われる日本の大学教育成果**  
加藤真紀・喜始照宣著  
A5・上製・二一六頁・二八〇〇円

【最新刊】**大学教育における高次の統合的な能力の評価**  
—量的vs質的、直接的vs間接の二項対立を超えて  
斎藤有吾著  
A5・上製・一八四頁・二八〇〇円

【最新刊】**現代ベトナム高等教育の構造**  
—国家の管理と党の領導  
関口洋平著  
A5・上製・三二八頁・三九〇〇円

【最新刊】**検証 国立大学法人化と大学の責任**  
—その制定過程と大学自立への構想  
田中弘允・佐藤博明・田原博人著  
A5・上製・五二八頁・四八〇〇円

【最新刊】**大学経営・政策入門**  
—重版出来!  
東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース編  
A5・並製・二七二頁・二四〇〇円

【最新刊】**国立大学職員の人事システム**  
—管理職への昇進と能力開発  
渡辺恵子著  
A5・上製・三六〇頁・四二〇〇円